

No.	013	—	2001	事務事業名	観光振興事業			細事務事業名				公的関与	8
PLAN	課名	産業創出課	係名	商工観光係	電話番号	964-4414		メールアドレス	sangyosovutsu@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	第3章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	3 観光・物産の振興		主要施策	(1)観光振興体制の確立				
	事業の対象	市民及び市外からの観光客					根拠法令						
	事業の目的	最終的	市の観光・物産の情報発信、情報収集、更に問合せ等への対応を行い、交流人口の拡大により本市経済の活性化、地域の発展を目指します。				今年度						
	活動内容	①	市内観光・物産の発信。				④	市内観光イベントの支援及び市外観光イベントへの参加。					
		②	市内観光・物産関係の問合せへのきめ細やかな対応。				⑤	観光物産協会への支援。					
		③	観光関係の各種調査事務。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標		
		観光入込客数		観光客数 (年単位)			千人	目標	1,240	1,240	1,000	1,300	
						実績	1,016	1,013					
市観光物産協会会員数		観光物産協会会員数			人	目標	120	120	110	120			
						実績	104	99					
坊っちゃん劇場入場者数		入場者数			人	目標	90,000	90,000	50,000	100,000			
						実績	74,019	58,360					
ODO	予算費目	会計	一般会計			費目名	商工			費			
	直接事業費		平成 30 年度決算	令和 元 年度決算	令和 2 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	直接事業費:とうおん魅力発信事業予算の内、委託料以外の経費							
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	1,964 千円	904 千円	1,168 千円								
	計(A)	1,964 千円	904 千円	1,168 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.745 人	4,568 千円	0.744 人	4,643 千円	0.745 人	4,653 千円					
		臨時職員工数・経費	0.505 人	1,002 千円	0.517 人	1,027 千円	0.517 人	1,025 千円					
	全体事業費(A+B)	7,534 千円		6,575 千円		6,846 千円							
一次評価者	商工観光係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	観光情報の発信、問合せ等により、市内の観光地を、積極的にPRし、観光誘致を行い、交流人口を拡大させることにより、地域経済の活性化を図る必要があります。												
有効性	本市の観光・物産のPRをすることにより、本市に興味関心を持ち訪れる人が多くなる事は、地域活性化につながる大切な事業です。												
達成度	市内の個々の観光施設は、市内や県外からも多くの方が訪れるようになっていますが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、施設の来客数が大幅に減少しています。												
効率性	松山市、砥部町との広域観光連携により、効果的に事業を行っています。また、県内外の市町や協定締結自治体等との連携にも取り組んでいます。												
当面の課題	これまで、市観光物産協会を中心に実施してきた誘客促進事業の結果を基に、本市の地域資源を活用したツアー商品を造成する必要があります。また、「新しい生活様式」に対応したツアーや観光PR方法を検討する必要があります。												
改計画	市観光物産協会や市内事業者、大学、金融機関等と連携したツアーの商品化を進めるとともに、ITも活用して東温市の地域資源を紹介し、観光客の誘致に積極的に取り組みます。												
二次評価者	産業創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	新型コロナウイルス感染症により、全国の観光産業はこれまでにない影響を受けており、本市も同様に厳しい状況です。今後はITを活用した取り組みについても積極的に取り入れるよう検討してください。												

No.	013	—	2006	事務事業名	観光宣伝事業			細事務事業名				公的関与	8
PLAN	課名	産業創出課	係名	商工観光係	電話番号	964-4414		メールアドレス	sangyosovutsu@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	第3章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	3 観光・物産の振興		主要施策	(4) 広域観光体制の充実とPR活動等の強化				
	事業の対象	県内及び県外からの観光客					根拠法令						
	事業の目的	最終的	本市の魅力ある観光地や特産品のPRを積極的に行い、認知度のUPを図り観光客の誘致に取り組み、交流人口の拡大を目指します。最終的には、定住人口の増加、地域経済の発展につながるよう取り組みます。					今年度					
	活動内容	①	市長をトップとしたキャラバン隊を編成し、本市の観光・物産のPR活動を行います。					④					
		②	観光・物産宣伝用資材を作成します。					⑤					
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標		
		観光PRキャラバン活動数	実施回数			回	目標	2	2	2	2		
実績					2	2							
観光入込客数		観光客数 (年単位)			千人	目標	1,240	1,240	1,000	1,300			
		実績					1,016	1,013					
広域観光連携PR活動数		実施回数			回	目標	3	3	3	3			
	実績					3	2						
ODO	予算費目	会計	一般会計			費目名	商工			費			
	直接事業費		平成 30 年度決算	令和 元 年度決算	令和 2 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	直接事業費：観光振興事業予算の内、イベント補助金以外の経費							
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	408 千円	336 千円	355 千円								
	計(A)	408 千円	336 千円	355 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.298 人	1,827 千円	0.273 人	1,704 千円	0.300 人	1,874 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		2,235 千円	2,040 千円	2,229 千円								
一次評価者	商工観光係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	本市の認知度をUPさせるためには、市長自らのトップセールスによる観光PRキャラバンはとて効果があり、地域活性化につながる必要な事業です。												
有効性	観光PRキャラバンを継続的に実施することにより、本市を知らない方々に直接本市の魅力を伝えられることができるとともに、マスメディアにも取り上げられ、非常に有効です。												
達成度	観光PRキャラバンにより、あまり知られていない観光スポットや物産について周知することができており、多くの都道府県からの観光客が増加しつつあります。												
効率性	広域観光連携推進協議会や本市観光物産協会と連携し、道後温泉に宿泊する観光客を、本市へ回遊させるための宣伝活動等を実施しています。												
当面の課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、県をまたぐ移動が制限される状況の中、今後の国内の状況に合わせたPR活動を実施していく必要があります。これまで以上に交流自治体や市観光物産協会等の関係団体との連携を密にして、事業の実施方法について検討する必要があります。												
改訂計画	中四国を中心に、可能な範囲で観光PRキャラバンを実施するとともに、SNS等を活用した事業に取り組みます。												
二次評価者	産業創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、これまでの成果も踏まえ、本市にあった新たな取り組みについて検討してください。Withコロナを念頭に、今後の観光PRキャラバンの実施方法について検討してください。												

No.	013	—	2033	事務事業名	とうおん健康医療創生事業	細事務事業名		公的関与	8				
PLAN	課名	産業創出課	係名	商工観光係	電話番号	964-4414	メールアドレス	sangyosovutsu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	2 商工業の振興		主要施策	(5) 愛媛大学医学部と市内企業との連携				
	事業の対象	市内中小零細企業、市民、市外からの観光客				根拠法令							
	事業の目的	最終的	市、市内中小連携事業、愛媛大学及び愛媛大学医学部が連携した、モノづくり産業の創生とヘルスケア産業の創生			今年度							
	活動内容	①	市内中小零細企業と連携によるものづくり産業の創生。			④	健康づくり支援システム(ウェルスポートナビ)活用事業の実施。						
		②	市域資源を活用したヘルスケア産業の創生。			⑤							
		③	さくらの湯ブランチの実施。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標			
		健康医療創生研究会開催数		回数		回	目標 3	3	3	3			
さくらの湯ブランチ体験者数		体験者数		人	目標 100	100	100	120					
ウェルスポートナビ登録者数		登録者数		人	目標 300	300	300	300					
					実績 3	2							
ODO	予算費目	会計	一般会計		費目名	商工		費					
	直接事業費		平成 30 年度決算	令和 元 年度決算	令和 2 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	5,420 千円	5,681 千円	5,979 千円								
	計(A)	5,420 千円	5,681 千円	5,979 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.228 人	1,398 千円	0.298 人	1,860 千円	0.298 人	1,861 千円					
		臨時職員工数・経費	0.337 人	669 千円	0.298 人	592 千円	0.298 人	591 千円					
	全体事業費(A+B)		7,487 千円	8,133 千円	8,431 千円								
一次評価者	商工観光係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	愛媛大学医学部を中心に市内中小零細企業と連携しており、市長の公約の一つでもある健康日本一のまちづくりを実現するために必要な事業です。												
有効性	市内中小零細企業と連携することで、地域経済の活性化につながる重要な事業です。また、さくらの湯ブランチを実施することにより、他の温浴施設との差別化が図れ、観光客の誘客にもつながる事業です。												
達成度	ヘルスツーリズムPR動画の作成やもち麦レシピの活用などの取組みにより、旅行商品の開発や、特産品の販路開拓に向けた取組みが来ています。												
効率性	愛媛大学医学部を中心に、市内中小零細企業と連携を図りながら事業に取り組むことにより、市単独ではできない取組みも可能となる事業です。												
当面の課題	第1期(平成27年度～令和元年度)で実施した事業や蓄積されたデータの活用方法等について検討が必要です。また、第2期(令和2年度～令和7年度)における、大学、事業所と連携した新たな事業を展開する必要があります。												
改革計画	愛媛大学医学部を中心に、全学部との連携を深め、事業所の多様なニーズに対応するための検討を行います。健康推進課等関係部署と連携し、効果的に事業を推進します。												
二次評価者	産業創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	第1期5年間の取組みにより、医学部だけではなく愛大全学部との連携によるプラットフォームが出来たと考えています。これからは、より具体的な事業の推進が求められますので、関係各課(健康推進課、長寿介護課など)・団体(社会福祉協議会、商工会、観光物産協会など)との連携をさらに密にして、取り組んでください。												